

「流域計画・流域管理課題分野」(平成29年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
不確実性下における高潮浸水リスク適応政策の経済評価	熊本大学 藤見 俊夫	A
<p>＜研究概要＞</p> <p>本研究では、高潮リスク予測における不確実性を考慮した適応政策の経済評価手法の構築を目指す。まず、大阪湾沿岸を対象地域として、大規模アンサンブル気候実験結果に基づき不確実性を伴う高潮浸水リスクを予測し、その予測状況のもとで一戸建て居住世帯を対象に選択実験を行い、不確実性下の意志決定モデルを推定した。さらに、不確実性プレミアムを試算し、浸水予測結果と統合することで不確実性プレミアムの地理的分布を明らかにした。</p>		
<p>＜事後評価指摘事項＞</p> <p>A評価のためなし</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった。
- B: 一定の研究成果があった。
- C: 研究成果があったとは言い難い。